

ひろがわちょう
広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)(第2回変更)

ひろがわちょう
広川町

平成30年2月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年1月30日

計画の名称	広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)										重点配分対象の該当											
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)					交付対象	広川町															
計画の目標	狭あい道路の解消により、緊急車両の通行や地域住民の交通安全対策をし良好な生活環境を形成する。また今後予想される大地震や豪雨による大規模災害に備えた避難道路としての機能向上を図る。																					
計画の成果目標(定量的指標)	狭あい道路の整備により、狭あい道路接道住宅の減少。(生活・防災環境改善)																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">整備する狭あい道路接道住宅数を計画期間内で0軒にする</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 (H26当初)</td> <td>中間目標値 (H28末)</td> <td>最終目標値 (H30末)</td> </tr> <tr> <td>36軒</td> <td></td> <td>0軒</td> </tr> </table>											整備する狭あい道路接道住宅数を計画期間内で0軒にする	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	36軒		0軒
整備する狭あい道路接道住宅数を計画期間内で0軒にする	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)																			
	36軒		0軒																			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	311.8百万円	A	311.8百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%										
交付対象事業																						
A 基幹事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H26	H27	H28	H29	H30									
1	住宅	一般	広川町	直接	広川町	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域	広川町						311.8		-					
合計													311.8									
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H26	H27	H28	H29	H30									
合計													0									
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H26	H27	H28	H29	H30									
合計																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H26	H27	H28	H29	H30									
合計																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										

交付金の執行状況

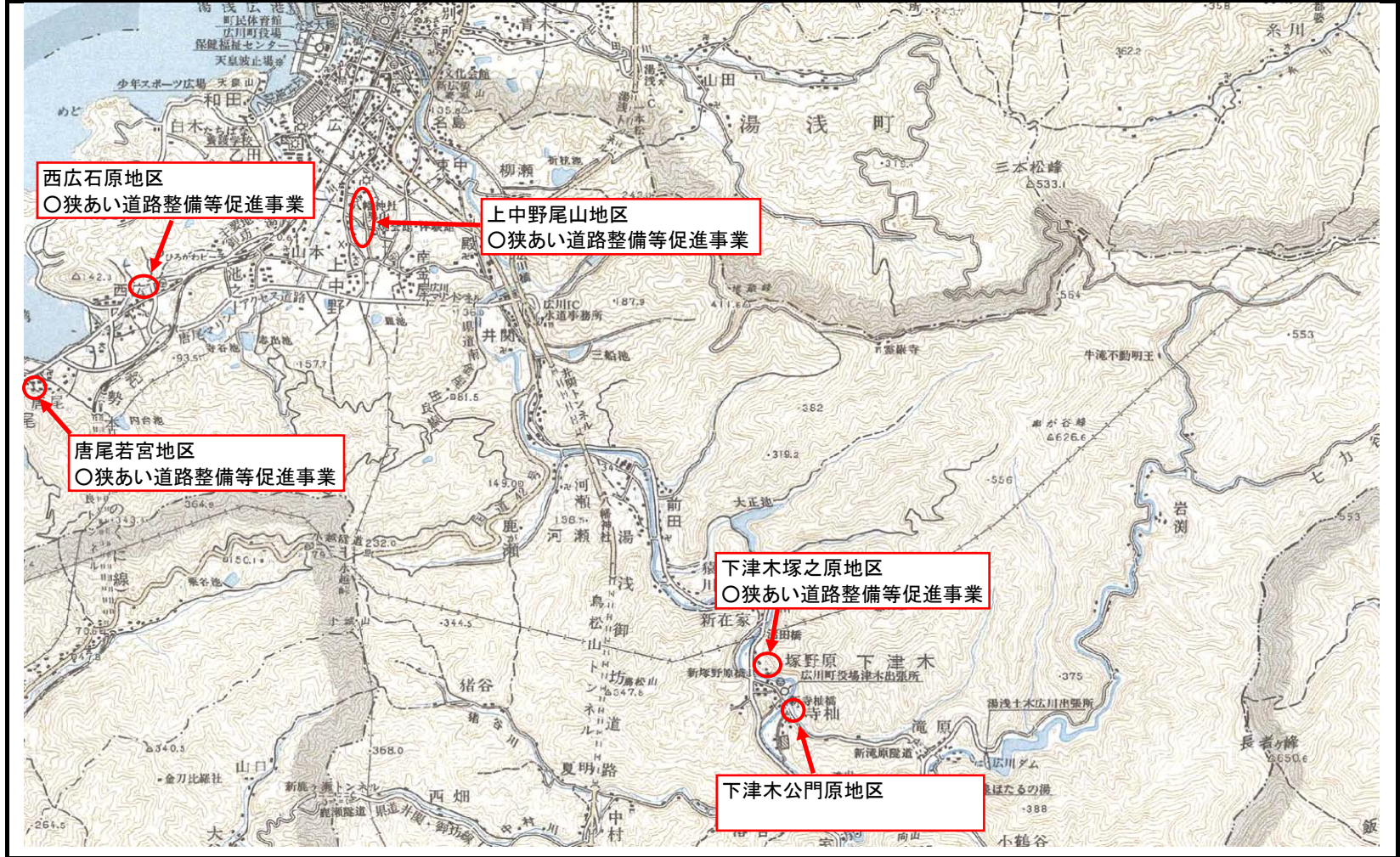
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	19.95	15.6	28.00	42.35	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	19.95	15.60	28.00	42.35	
前年度からの繰越額 (d)	0	12.4015	9.942	10.8205	
支払済額 (e)	7.5485	18.0595	27.1215	44.9725	
翌年度繰越額 (f)	12.4015	9.942	10.8205	8.1980	
うち未契約繰越額 (g)	3.03674	5.485	7.295	3.2822	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	15.2%	19.6%	19.2%	6.2%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	電柱移転先の 決定に不測の 日数を要し物 件移転が遅延 したため	地元との法線 協議に不測の 日数を要し測 量設計業務が 遅延したため	地元との法 線協議に不測 の日数を要し 測量設計業務 が遅延したため	電柱移転先 の決定に不測 の日数を要し 物件移転が遅 延したため	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)位置図

計画の名称	1 広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)		
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)	交付対象	広川町



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)

地方公共団体名：広川町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	<input type="radio"/>
②緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	<input type="radio"/>
(該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 <input checked="" type="radio"/> ク 良好な住環境の整備 ケ 地域の特色ある街並みの整備 <input type="radio"/> コ その他(防災機能の向上)	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	<input type="radio"/>
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	<input type="radio"/>
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	<input type="radio"/>